

山頂 12:40
海拔939.4m

これはスリリング!
90°近い急な配
を一気に下る

海抜139.4m
回りの山々が低いので、360°
さえぎるものがなく視界良好!
これは感動するしかないよ、遠
手とるよ

最後に立ち上がった「天下は我が手に」
大きな岩 気分かな。

山頂付近には
あけぼのつつじが...
4月下旬~5月上旬頃に
鐘形の紫い花を
咲かせます

文庫
 あり
 くまざさの
 回廊を抜く

水が流
治って人

丸太が怪しい
道をさへぎる...
がそのまま階段に
なっているよ。

登山の醍醐味!
強烈な斜面に
大きな岩場や
こぶた石が行程を
はばむ...

くりのイガが
あちこちに...

寧形山

江戸時代の地誌「播磨守鑑」には「京のあたりに竹筥に見ゆると竹筥形と名付たる由也」とあります。山の形は京都の女性に被る竹筥の一種で「つままり筥」に似ています。

天邪鬼の橋げた伝説 ひきいわ
「奇岩・天邪鬼の挽岩」

「大昔、笠形山にアマンチャクがいた。笠形山から
中町の妙見山に橋をかけるため、橋脚をたて
橋板にすべく岩を板状に切り、いよいよ架橋
にとりかかる段取りになったとき柔の空が明け
かけた。アマンチャクは夜の生き物で太陽が昇る
と駄目になるので残念ながらこの大架橋工事は
橋脚を立て、橋板を切って準備OK
というところまで夜が明けしまったというのである

虫めきりに這って登るような
相当疲れるハードコース。
でも木の根この階段は反巻です!!
まさに自然の芸術作品!!

木のロバンを
目印にすると
歩くの少し
ラクかも...

頂上まで1.0
17:05

コケ
か

八合目

落葉が心地良いワッショリな
カリと平坦で歩きやすい道です。
右側には急な斜面です
すべらないようにネ。

「セビ」(馬酔木)
 4月15日かけて

スズランに似たフリギザの
小さな花を咲かせます。
馬が食べやすい体がしなで、
酢みょうにようになるところから
馬酔木と名を付けられました。
人が誤ってこれを食べると足が
しびれることからアサヒシガラ
田舎でよみました。

空形山は全体に岩山です。
驚くばかりの大きな一枚岩が
あちこちに見られます。
足元にもゴロゴロ石がい

ウツクシク

県下では笠形山にしか
その自生が見られない
貴重な植物です。
サクラソウ科の仲間で
山間部の日当たりがよく
やや湿った所を好みます。
濃い赤紫の花を車輪状に
つけ、それが数段になるので
五重の塔の先端部分(九輪)
にたとえていいます。

お願い!!

山岳地帯に生える植物には
大変珍しい貴重なものもいほ
いあります。持ち帰らずに自然の中
で大切に育ちましょ。

モータはスベツキしながら
3時間半かったけど
大人の女性だと2時間半
くらいで登れるヨ

也 笠形山のふ
ンエコー笠形で
ンソウ保護観
供してゐます

こぶお別れです。
は次登りコースへと向います

至グリーンエコ
な環境

テニスコート

← 赤い矢印に
添って歩こう

⇨ 白い矢印は
2117-27.5